

月次業績の把握

月次業績とは言うまでもなく月次の損益情報の把握です。

ここでは、経常利益や営業利益を求められれば一番ですが、通信事業は設備の償却費が固定費として多く発生するため、月次レベルでは管理不能費である減価償却などは控除して、EBITDA までを算定することを目指します。

EBITDA とは、Earnings Before Interest, Tax, Depreciation and Amortization の略で、金利 / 税金 / 償却除却費控除前利益と訳されます。簡易なキャッシュフロー概念といってよいでしょう。EBITDA を算定するには、減価償却などは除外できますが、売上債権や支払債務をきちんと認識する必要があります。

つまり、Working Capital の増減として EBITDA が使用されていると考えればよいわけですから、月次の損益情報がきちんと把握できれば、Cash Flow も容易に把握できます。

2004 年 05 月 03 日